

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション

1. 事業の成果

平成28年度はBA設立13年目、昨年度に引き続き、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に、これまでの産官学連携の講演会、サロン、研究会等の活動を継続するとともに、ジャパンイニシアチブの視点から設立した「スマートプラットフォーム・フォーラム」活動を通して、新産業の創出、産業のスマート化、プラットフォーム（WEB）の国際標準化に貢献する活動を推進した。

平成16年度から開始した「ブロードバンド特別講演会」は、本年も2回、5月と12月に開催し、好評を得ている。特に、2020年に向けた電波政策・5Gの実用化・4K・8Kの実用放送をテーマとした第26回は、アンケート調査で有意義（大変有意義+有意義）が100%と高い評価を頂いた。

平成16年度から開始した「BAエグゼクティブサロン（勉強会+交流会）」は、今期8回（通算111回）開催した。また、「最新メディアの興亡」をテーマとした角川歴彦氏の第100回記念講演録を作成し、BA会員、並びにBAの活動をサポートして下さる方々に進呈した。一方、平成19年度から開始した「BAクリエイターズサロン（勉強会+名刺交換会）」は今期2回（通算31回）開催した。

ブロードバンド（BB）環境における映像配信の成立・発展に向け、平成20年に設置した「映像配信ビジネス研究会」は、今期8回（通算86回）定期的に開催し、関係者に喜ばれている。

平成25年度に設立した「スマートプラットフォーム・フォーラム（SPF）」は、設立から2年半を経過し、委員長は村井純氏（慶應義塾大学教授）から、森川博之氏（東京大学教授）に引き継がれ、新たな視点も加え、10月に、「2020年のスマートプラットフォーム＜IoTで日本を元気に！＞」をテーマに第6回公開フォーラムを開催した。分科会関係では、農業×ITハッカソンが100人の参加者を得て開催し注目された。またコンテンツ分科会の「オープンな次世代食・農情報流通基盤Nober（農場）」が、内閣府主催の「RESASアプリコンテスト」で協賛企業賞を受賞した。また、健康医療分科会は、今秋開院する湘南慶育病院のhospital in the home の実証実験参加に向け検討を進めた。また、「IoT/スマートプラットフォーム白書企画委員会」は、産業のスマート化に貢献するSPF活動と連動した形式の白書作りを進めた。

一方、認定NPO法人の資格取得に向け、サポーター募集を推進、平成28年度の個人からの3,000円以上の寄付が100名を超え、資格取得の要件をクリアする見通しを得た。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営1	「ブロードバンド特別講演会」	5月13日	明治記念館 曙の間	20名	BBに関心のある人会場参加者：291名 ネット来場者数：720	2,327
	第25回（IoT時代を切り拓く5GとITSの可能性）、基調講演Ⅰ：山田真貴子氏（総務省 情報通信国際戦略局長：IoT/ビックデータ/AI時代の情報通信政策）、講演Ⅰ：栄藤稔氏（NTTドコモ 執行役員：モバイル通信技術の発展とIoT）、講演Ⅱ：谷口覚氏（トヨタIT開発センター 代表取締役社長：クルマとIT技術の連携によるスマートモビリティ社会、その先へ）、基調講演Ⅱ：藤原洋氏（ブロードタワー 代表取締役会長社長CEO：世界一のIoT社会を目指して）、＜パネルディスカッション＞ モデレータ：藤原洋氏、パネリスト：栄藤稔氏、谷口覚氏、宇佐見正士氏（KDDI理事、技術開発本部長）、岩浪剛太氏（インフォシティ代表取締役）					

	第26回(2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた電波政策及び経済活動の活性化～5Gの実用化と4K・8Kの実用放送～)、基調講演:渡辺克也氏(総務省 総合通信基盤局 電波部長:電波政策2020)、講演Ⅰ:尾上誠蔵氏(NTTドコモ 取締役常務執行役員兼CTO:2020に向けた5Gの実用化)、講演Ⅱ:春口篤氏(日本放送協会 技術局長・副技師長:東京オリンピック・パラリンピックに向けた4K・8Kスーパーハイビジョンの実用放送)	12月5日	明治記念館 曙の間	20名	BBに関心のある人 会場参加者:279名 ネット来場者数:551	
交流会・研究会・セミナーの開催1	「BAエグゼクティブサロン」					
	第104回:広田 稔(パノラプロ 代表取締役社長、VRジャーナリスト:「VR元年」におさえておきたい最新動向と課題)	4月21日				
	第105回:福井省三((一社)IPTVフォーラム 理事:視聴データに関する海外の動向とIPTVフォーラムの今後の取り組み)	6月16日				
	第106回:井上友二(トヨタIT開発センター 代表取締役会長、BA理事:クルマを活用したスマート社会の産業・街づくりの話)	7月21日				
	第107回 講師:杉本誠司(ブループリント ビジネス開発部長、元ニワンゴ 代表取締役:地方創生とIT(ネット通信高校の職業体験にヒントを得る地方創生のシナリオと考察)	9月15日	NTTデータ本社	48名 (延べ)	BB関係の 経営者、 上級管理 者:252名	1,700
	第108回:暦本純一(東京大学 大学院情報学環 教授:Internet of Abilibitresの時代:Augmented RealityからAugmented Humanへ)	10月27日				
	第109回:倉又俊夫(NHK 放送総局デジタルコンテンツセンター 副部長:2017年のデジタル潮流～CES2017から～)	1月18日				
	第110回:松本純夫(東京医療センター 名誉院長:Hospital in the Home—4Kテレビと通信の融合が創るD to Pの新しい形)	2月16日				
	第111回:小林忠男(無線LANビジネス推進連絡会 会長:生活の中のワイヤレス Wi-Fiを中心に)	3月16日				
	「BAエグゼクティブサロン」100回記念パンフレット～これまで(99回)の実施記録 次なるステージの糧に～を、BA会員、並びにBAの活動をサポートして下さる方々に進呈した。	4月～10月	-		BB関係者/ 一般:200	
	「BAエグゼクティブサロン」100回記念講演録(講演テーマ:最新メディアの興亡 講師:角川歴彦(株式会社KADOKAWA 表取締役会長)を作成し、BA会員、並びにBAの活動をサポートして下さる方々に進呈した。	10月～3月	-		BB関係者/ 一般:300	
「BAクリエイターズサロン」						
第30回:高山晃(ファンワークス 代表取締役:ソーシャルメディア時代のアニメーションプロデュース)	5月13日	東放学園	8名 (延べ)	BB関係者 (主にク リエイター): 44名		
第31回:瀧内泉(LEGIT 代表取締役:JAPANソフトパワー アジア～世界進出のヒント)	3月24日	VIPO				
交流会・研究会・セミナーの開催2	「映像配信ビジネス研究会」					
	第79回:市井三衛(ジャパン・コンテンツ海外展開事務局 局長:J-LOP、J-LOP+の効果、新JLOPの現状及び他のVIPOの活動)、鈴木祐司(次世代メディア研究所代表:VOD戦国時代を俯瞰して見た)	4月8日				
	第80回:ト部宏樹(サイバーエージェント 取締役:AbemaTVの事業戦略とAbema Newsの展望)、塚本幹夫(フジテレビジョン 電波企画室:次世代”放送”の行方は? NAB Show 2016視察報告)	5月27日	WOWO W会議室	32名 (延べ)	BB関係者(主に映像) 215名	992

	第81回：野村和生(フジテレビジョン コンテンツ事業局：FODの戦略と展望)、馬場俊明((一社)放送サービス高度化推進協会 周知広報部：4K・8K実用放送への期待と課題)	6月 27日				
	第82回：境 治(コピーライター：テレビ視聴の変化と動画広告の新潮流)、小野哲太郎(AWA取締役：音楽配信サービスAWAの戦略)	8月 23日				
	第83回：石原孝志(ジェイ・スポーツ取締役：J SPORTSの動画配信事業について)、野本 晶(スポティファイジャパン：スポティファイの日本におけるサービス開始)	10月 24日				
	第84回：真木太郎(ジェンコ 代表取締役社長：アニメにおける資本調達について)、田代堅一(GYAO編成本部：GYAO!における放送局との取組み事例)	11月 21日				
	第85回：寛誠一郎((一社)日本eスポーツ協会事務局長：日本におけるeスポーツの現状と今後)、境真良(国際大学GLOCOM客員研究員：CES2017レポート)	1月 25日				
	第86回：窪園竜二(NTT サービスエボリューション研究所長：NTT研究所におけるVR/ARの取組み)、廣瀬通孝(東京大学大学院教授：VR2.0の世界)	3月 6日				
ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営2	「SPF公開フォーラム」					
	第6回(2020年のスマートプラットフォーム<IoTで日本を元気に！>)基調講演：谷川史郎(野村総合研究所理事長：非連続に変化する時代の着眼点)、講演Ⅰ：宇佐見正士氏(KDDI理事 技術統括本部 技術開発本部長：人とモノのミライを作る通信の役割)、講演Ⅱ：松田総一氏(リープマインド代表取締役CEO：IoTとディープラーニングの関係性について)、講演Ⅲ：安達俊久氏(グローバルIoTテクノロジーベンチャーズ代表取締役社長) <パネルディスカッション> モデレーター：森川博之委員長、パネリスト：南 政樹 幹事(慶應義塾大学 環境情報学部講師)、谷川史郎、宇佐見正士、松田総一、安達俊久	10月 11日	東京大学 本郷キ ャンパス 武田ホ ール	11名	BB関係者 /一般：85 名 ネット来場 者数：95	636
交流会・研究会・セミナーの開催3	「SPF分科会」					
	「コンテンツ分科会(主査：庄司昌彦)」 LODチャレンジジャパンコンテスト2年連続受賞で注目された「Nober(農場)」を小泉進次郎議員に請われて説明した。この実績を背景に、ベンチャが参加した形式でビジネス化/コンテスト応募に向け検討、「RESASアプリコンテスト」に応募し、協賛企業賞を受賞した。Noberプロジェクトは、アイデアを出しBA事務局次長としてプロジェクトをコーディネートした渡辺智之氏が会長を務める「日本農業情報システム協会」に引継ぎ、検討成果は論文(ディスカッション)としてまとめ公開することとし、本分科会は発展的に解消する。	4月- 3月 6日	国際大学 GLOCOM 会議室	6名 (延べ)	分科会参加者：38名	1,945
	小泉進次郎議員(自民党農林部会長)に請われて、農業生産物の選択の幅を広げるNober(農場)～日本の農業を魅力あるものにするITの利活用～特にIoT (Internet Of Tomato) に注目～を国会議員等に説明した。	4月 26日	衆議院議 員会館	5名	農業関係 国会議員/ 関係者：15 名	
「RESAS アプリコンテスト最終審査会 & 表彰式において「サツマイモナビ」オープンな次世代食・農情報流通基盤 Nober(農場)を説明、協賛企業賞(ソフトバンク・テクノロジー賞)を受賞した。	3月 26日	ベルサ ール六 本木コ ンファ レン スセン タ	4名	BB,地方創 生関係者/ 一般者：数 百名、ネッ ト視聴：多 数		

	「サービス・WEB分科会(主査:舟橋洋介)」 農業分野のWEB国際標準化に向け、「W3C Agriculture CG」で検討する項目(利用シーン、データ表現のベースとなる語彙、ベースとなる書式、API)、並びに官でまとめた農業用語ガイドラインの活用等を木浦CG委員長が中心になって検討、関係者と調整している。	4月-3月	メーリングリスト	10名(延べ)	分科会参加者:22名	
	「農業IT分科会(主査:南政樹)」、 「農業×IT前提社会」、「スマートアグリプラットフォーム」の実現に向け、農業×ITハッカソンの実施を、WEB会議を活用して検討した。この検討をベースに、農作物の生育をテーマとするハッカソンを4月に、ハードウェア(センサー)をテーマとする農業×IoTハッカソンを8月に、実地試験を10月に実施した。農業×ITハッカソンの活動は注目され、3人のベンチャーを輩出した。スマートアグリプラットフォームの実現に貢献する活動が一定の成果を挙げ一段落したことから、本分科会は終了する。	4月-3月5回	WEB会議	10名(延べ)	分科会参加者:37名	
	「健康・医療分科会(主査:南政樹)」 主にWEB会議を活用して、ヘルスケア分野のスマート化、並びに今秋開院予定の湘南慶育病院(院長:松本先生)のhospital in the homeの実証実験参加にむけ検討を進めた。	4月-3月6回	WEB会議等	12名(延べ)	分科会参加者:55名	
	松本先生を囲む会:湘南慶育病院の院長就任が予定されている松本先生、及び湘南慶育病院の遠隔医療を検討している今泉先生をお招きし、健康医療分科会での検討内容を説明し、ご意見をお聴きした。	11月16日	慶應大学SFC都心サテライトオフィス	2名	BB、健康医療関係者:11名	
	健康医療×IT勉強会:講師に物部先生(エクスメディオ社長)、奥村先生(国立医療科学特命上席研究官)をお招きし、地域医療に関する講演を頂き、意見交換をした。	1月17日	NTTドコモベンチャーズ会議室	2名	BB、健康医療関係者:47名	
交流会・研究会・セミナーの開催4	「農業×ITハッカソン」					619
	「生育テーマをテーマとする農業×ITハッカソン」 東京大学のご協力の元、実際の圃場で、麦の生育状況を写真に撮り、画像分析により植被率を測定、生育状況の把握や処置などを表示するアプリを作成、狭義の参加者15人を4組に分けて成果を競った。	4月23/24日、	東京大学田無農場	2名	BB、農業関係者:22名	
	「ハードウェアをテーマとした農業×ITハッカソン」 関係者のご協力の元、センサー、並びにセンサーアプリを試作、センサー情報をセンターに送って、情報を蓄積、分析、表示。狭義の参加者30名を5組に分けて成果を競った。開催模様はネットで取り上げられた。	8月27/28日	秋葉原DMM.make	3名	BB、農業関係者:54名、ネット視聴:多数	
	「製作物の実践の場での体験」 東京大学のご協力の元、農場に於いて電源供給からセンサーの取り付け、通信試験、データ送信の確認を行った上、運用試験を3月まで実施した。	10月2日-3月	東京大学田無農場	3名+	BB、農業関係者:22名+	
	「IoT/スマートプラットフォーム白書(仮称)」					
	「IoT/スマートプラットフォーム白書企画委員会」 (委員長:藤原洋理事)は、農業、健康医療、住環境分野を対象とした産業のスマート化に貢献するSPF活動と連動した形式の白書作りを進めた。	4月-3月	-			

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
	実施しなかった					